



コロナに
負けるな！！

『グループホームめぐみの』の取り組みを通して

グループホームめぐみにおいてコロナウイルス感染者が発生したことで取り組んだ具体的な内容を写真や動画と共にご説明します。

いつだれが感染するかわからないです。対策は早期から実践することが非常に重要となります。そのためには『備え』が必要です。適切な方法をとれば感染拡大を防ぐことができます。この資料を基に皆さんの事業所においてできること、用意しておくこと・ものを、自分たちで考えすぐ実践できるようにしておいてください。

初動対策

初動対策：熱発者が出るなどの症状でコロナ感染が疑われる場合には、すぐに個室隔離と感染対策を行う。

1) 居室入口はビニールシートでゾーニングする。

ゾーニング方法はこちら



[簡単ゾーニングスペースの作り方 - YouTube](#) 約6分

[グループホームの居室ゾーニング - YouTube](#) 約3分

ビニールシートを用いたゾーニングの理由ですが、物理的に空間を分けることで、職員のゾーニングの意識が生まれます。ウイルスが、室内から漏れるのを予防というわけではありません。ここでの注意は、入退室する際に、ビニールシートをよく触ってしまいます。その部分は一日数回消毒してください。



2) すぐに対策を開始できるように、日常的に物品を準備しておく

すぐに移動して居室の前に配置して使用できるように、できればキャスター付きのものを用意



一番上に

体温計・パルスオキシメーター・血圧計・アルコール消毒薬等々

二段目以降

医療用ガウン又はポンチョタイプのガウン・グローブ・ヘアキャップをひとセットとして袋に入れておく。入室のたびに使用するので沢山作っておくとよい。

初動対策時に必要物品

1) 残飯用ゴミ箱 (ザル付き)



ゴミ箱・ポータブルトイレは居室内に置く。
収納ケースは居室の入り口外側。

2) 蓋つきゴミ箱 (使い捨て个人防护具用)



PCR検査：車で搬送の場合

車内の注意：

- 運転席と後部座席の間に仕切りシートを設置するのが望ましい。
- 入居者は不織布のマスク使用
- スタッフはN95マスク使用その上から不織布のマスク使用。
- グローブ・使い捨てガウン・キャップ着用。
- 車内では前後の窓を開けて風通しよくする。



この黒いテープは「ゴリラテープ」というものですが、超強力粘着力のため、剥がすときに車に跡が残ります。

N95マスクと不織布マスク

- 入居者がマスクを着用できない場合、飛沫が飛ぶ場合があるので、N95マスクの上に不織布のマスクの着用をする。
- N95のマスクは、数に限りがあるため、不織布のマスクを頻回に交換することで、N95のマスクを長く使うことができる。
- 入居者が確実にマスクを着用できる場合、この上からのマスクは不要。

陽性者が発生したら

PCR検査陽性者が発生したら

- 1) ユニットの中で「陽性者」が出たら、それ以外の人
は「濃厚接触者」となる。
- 2) その中でも熱が出るなど症状のある人は「疑わしい
者」となる。疑わしい人は、「陽性者」と想定する。
- 3) 陽性者・疑わしい者の居室入口はゾーニングを設置

連絡調整：ホーム内の連絡・外部との連絡

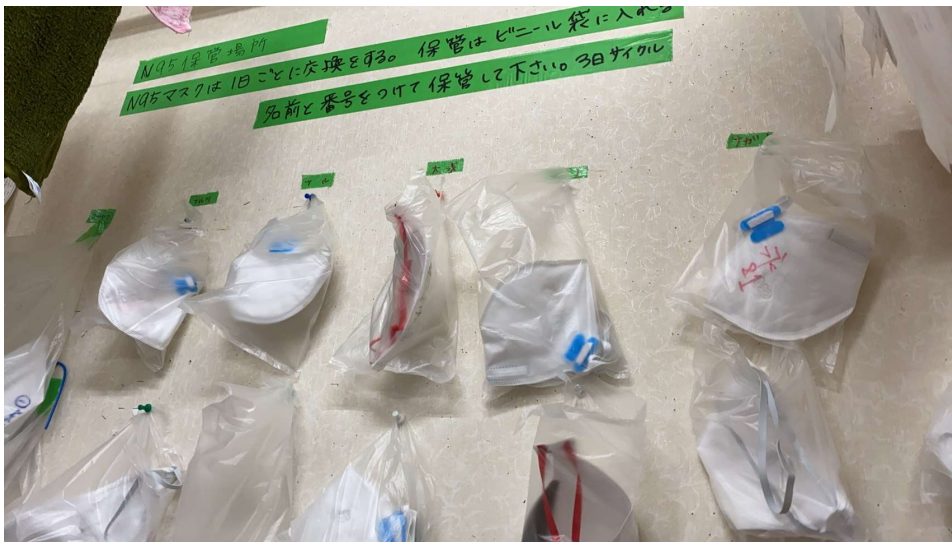
- 1) 指揮するもの・管理者等の役割は誰がするのか決めておく。
手段としてはインカムを使用するのが望ましい。

(スマホや携帯を触ることで感染を広げる可能性がある)

- 2) 連絡体制を取り決めておく。
 - 各事業所の特性を踏まえて、スタッフ間の報告・相談・連絡がスムーズにいくようにすること。
 - 外部との連絡調整は指揮するもの・管理者等が行う。

N95マスクの取り扱い

スタッフは常にN95マスクを使用。N95マスクは1人3個用意し、1日ずつ変えて使用。（ウイルスは3日経ったら死滅するので3日目のものを使用する）



ホーム内・ホール内のゾーニング

- ① ゾーニングした際にはグリーンゾーンを消毒と清掃行う。（雑巾禁）
- ② 入居者は全て個室対応。陽性者・疑わしい者の居室入口にゾーニングする。
- ③ 入居者のところに直接持っていくものはその性質により設置場所が変わる。

* 個別の内服薬・オムツ類はグリーンゾーンに設置しその都度持っていく。

下剤の水薬や目薬類はレッドゾーンでよい。

（モノを移動させることによって、そのモノを介してウイルスが広がっていくので、そのモノによって配置場所を検討）

ゾーニング

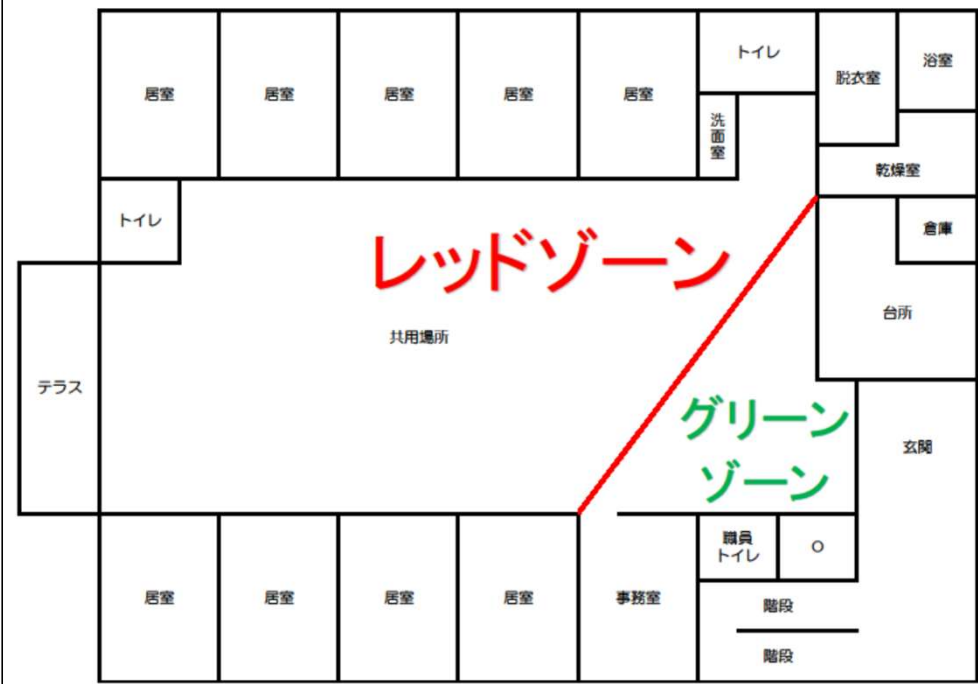
- ① グリーンゾーン（絶対清潔）
- ② イエローゾーン（絶対清潔とは言えないが、レッドゾーンではない）
- ③ レッドゾーン（感染者がいるところ、もしくは疑の患者がいるところ）
 - *グループホームのような生活をする施設では3つに分けるのは難しい。

物理的に空間を分けることで、職員のゾーニングの意識が生まれます。
ウイルスが、室内から漏れるのを予防というわけではありません。

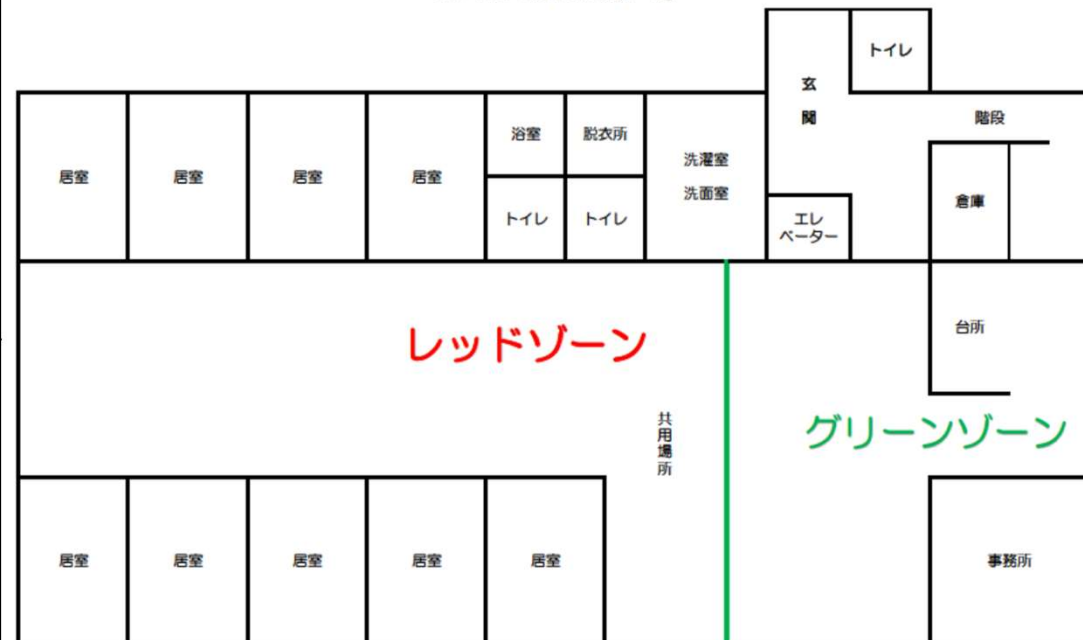
ゾーニング方法

- ① グループホームのような生活をする施設では、レッドとグリーンだけで対応可。
- ② グリーンゾーンのところにしっかり手洗いでできる場所があるとなおよい。台所は食事を作る場所なので手洗いをするとところとは分けたほうが良い。
- ③ 陽性者、疑わしい者（症状のある人）の部屋入口はゾーニングするので、レッドの中のレッドという意識。

グループホームめぐみの 図面 1,2階

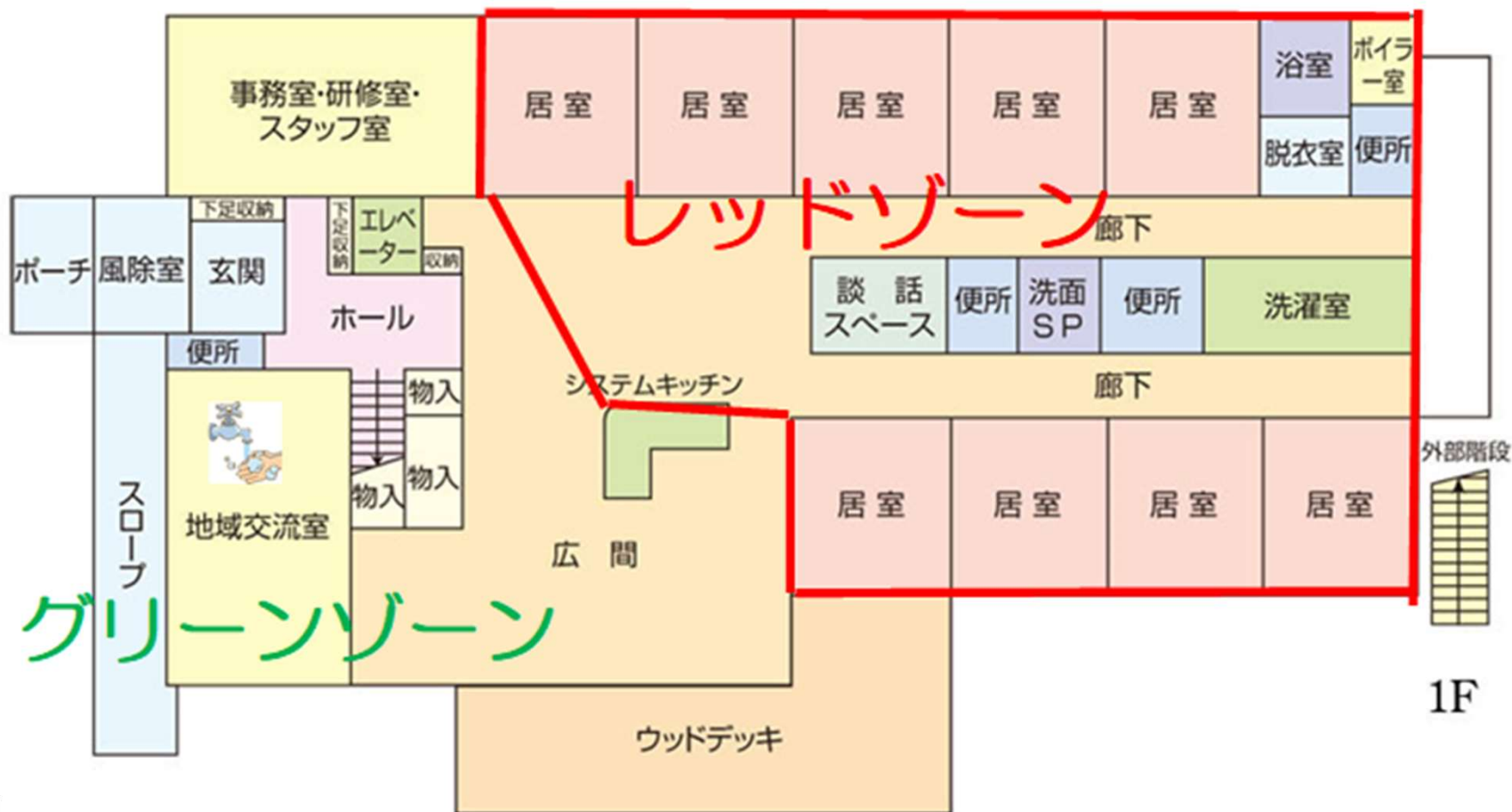


グループホームこもれびの家 1階

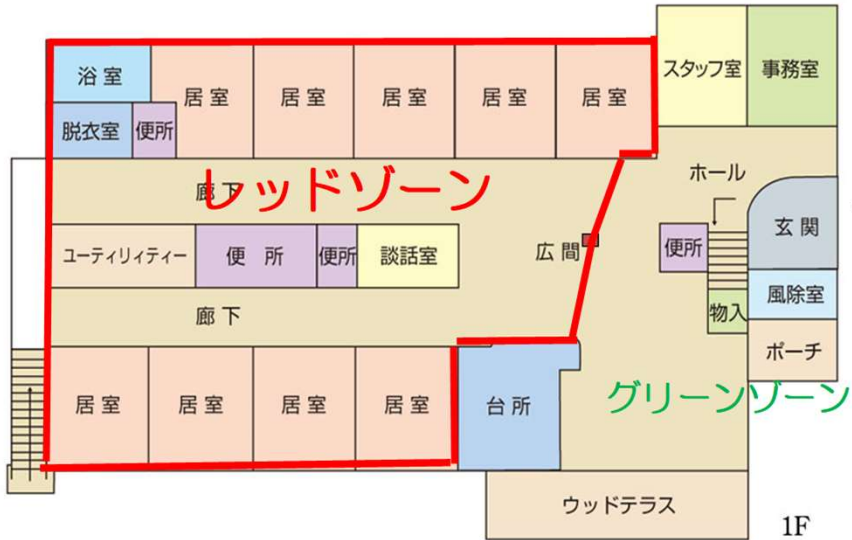


広間の仕切りはビニールシート

ゾーニング例：広間の仕切りはビニールシート



グループホーム花縁：避難経路



柱や天井のはりを利用して仕切る
柱がなければ突っ張り棒を使用してもよい

特養の 場合



レッドゾーンに入るときに必要な個人防護具 (PPE)

① レッドゾーン :

N95マスク・医療用ガウン（袖付き使い捨てガウン）又はポンチョタイプ
キャップ・フェイスシールド又はゴーグル・グローブ

★ （濃厚接触者居室）①の上から使い捨てエプロン

★ （陽性者・疑わしい者の居室）N95マスクの上から不織布マスク・使い捨てエプロン・グローブ

② グリーンゾーン :

N95マスク

- レッドゾーンから、外に出るときは、必ずすべて身に付けているものを捨てる
- ただし、N95のマスクは着用したまま また、フェイスシールドなどは使いまわしますので、レッドゾーン出た直後に消毒して、使う

捨てる場所



- ①陽性者・疑わしい者の居室内にゴミ箱を設置し、居室を出る前にすべて脱いで捨てる。
- ②濃厚接触者の居室から出た際には、この場所で使い捨てエプロンだけ脱いで捨てる。
- ③レッドゾーンから出るときもここで脱いで捨てる。



レッドゾーン内で
レッドゾーンとグリーンゾーンの境界線に設置

個人防護具の着脱方法



着方 <https://www.youtube.com/watch?v=eHQ5LYrcRos> 約6分

脱ぎ方 <https://www.youtube.com/watch?v=xucyS80MmUc> 約8分

食事

- ① 昼食はお弁当・朝夕は調理する。
- ② 食器は全て（飲食・飲水共に）使い捨て食器。
- ③ 配膳するときは前だけのエプロン使用（90ℓ・70ℓ ゴミ袋にて作成）作り方⇒

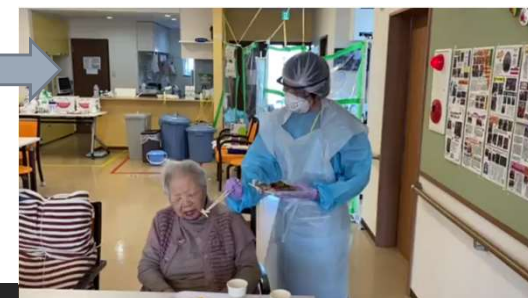
縦半分に切って
首を入れられる
ように角をカットする
開口部



<https://m.youtube.com/watch?v=vy1RQKf3To0> 約5分

- ① 配膳には一人ずつお盆を使用。回収後は必ずお盆の消毒をする。
- ② 食事介助時スタッフは立ったままとする。（高低差をつけることで感染予防）
- ③ 各居室の入り口から声掛けし、水分摂取の促しを行う。

<https://www.youtube.com/watch?v=eNrL4UDmgGY> 約1分



排泄

- ① 排泄介助で居室に入るときは、予防衣・ポンチョの上から使い捨てエプロンする。
- ② 寝たきりおむつ使用者以外、ポータブルトイレ使用。
- ③ ポータブルトイレ内にやや厚手のごみ袋（45ℓ）入れ、その内側に薄めのごみ袋（45ℓ）入れる。その中にペットシートを入れておく。排尿2～3回分ごとに内側のごみ袋を捨てる。
- ④ トイレトペーパー・ティッシュペーパーを各部屋に一個ずつ設置する。
- ⑤ オムツ交換時は、グリーンゾーンに置いてあるオムツ（個々に必要なだけ）と清拭用シートをビニール袋に入れて各居室へ持っていく。その袋に入れて回収してくる。
- ⑥ 入居者は基本ユニット内のトイレは使用しない。（排泄物からも感染するので）しかし居室から出てきて使用してしまう場合もあるので、その際はすぐにトイレ内を消毒すること。

* どうしても居室内のポータブルトイレではできないという方がいらっしゃった。

清拭

- ①入浴できないので週に2～3回清拭にて対応。（入浴すると浴室の掃除が感染対策を講じて行う必要がありかえって危険）
- ②清拭用タオルはフェイスタオルなど使用するが一度使用したらすぐに捨てる。使い捨てシート使用も可。
- ③浴室などでお湯を出してそこでタオルを温めて持って行ってよい。

衣服の交換・洗濯

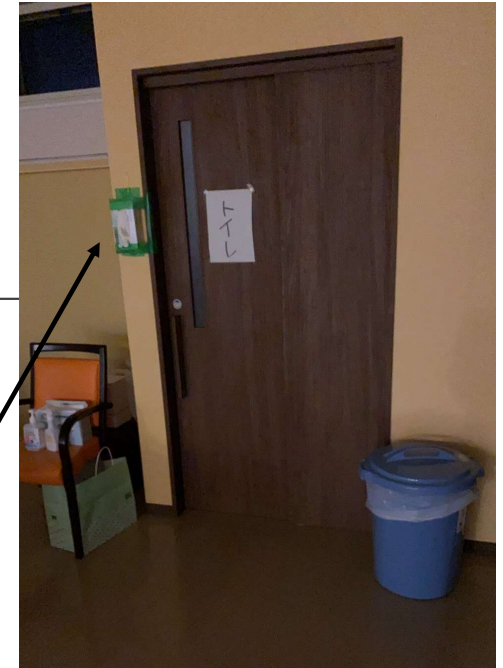
- ①陽性者・疑わしい者：1回ずつビニール袋に入れて居室におく。3日経ったら洗濯する。
- ②濃厚接触者：80℃のお湯に10分つけてから洗濯する。
- ③洗濯物は各自の居室に干す。

口腔ケア

- ① 使い捨て歯ブラシを使用。一回ずつ捨てる。コスト面を考慮しスポンジも併用する（夜だけ歯ブラシにするなど）
- ② 口をゆすぐ水のコップと吐き出す使い捨て容器（ペットシートをちぎって入れておく）を使用する。

掃除

- ① 雑巾は使用禁止（ウイルスをばらまく可能性があるため）
- ② ユニット内の掃除は1日1回。
- ③ 掃除の順番はグリーン⇒イエロー⇒レッド
- ④ クイックルワイパー使用。シートにアルコールを含ませて掃除。
- ⑤ 手すりの掃除は頻回にできるように各所（廊下手すりなどに貼り付けておく）に設置。最低1日2回。
- ⑥ トイレ内にもアルコールスプレー、シートを設置して、入るごとに手で触れる場所（水を流すレバー・ペーパーホルダー・手すり・ドアノブ・ウォシュレット等）を拭く。（ウイルスが付いた手で触れることで広めてしまう） https://www.youtube.com/watch?v=FtCVYBwT_4M 約1分
- ⑦ トイレ入口にグローブを設置（テープで張り付けるなどして）し、すぐに使用できるようにする。



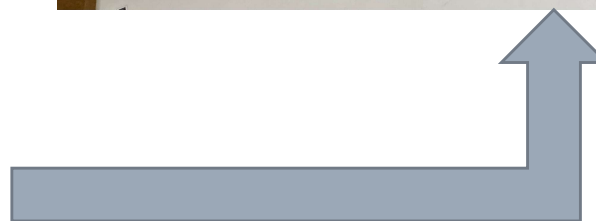
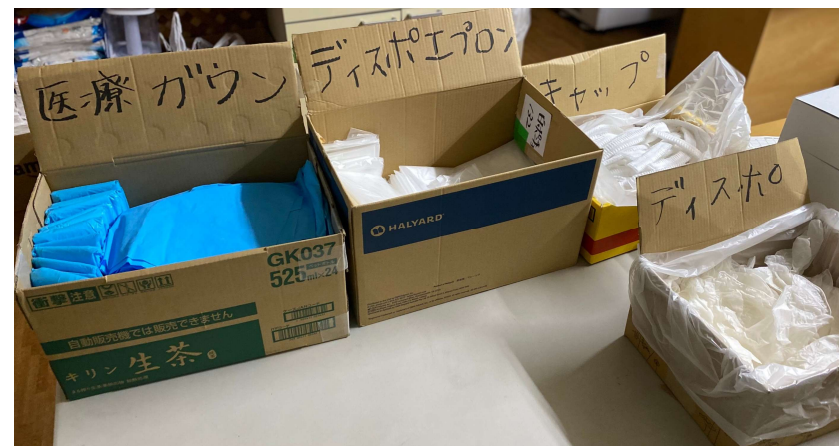
ゴミ類

- ① ゴミ箱は全て蓋つきを用意する。
- ② ごみ捨てのビニール袋は0.4mmのものを使用（重量があるので厚めのもの）
- ③ 食事残渣の汁物がある場合はザルつきバケツで汁物を切る。
- ④ 3日経過したものから、収集してくれるので、3日分の保管場所を決めておく。
 - ・物置、リサイクル物置等（ウイルスは3日経ったら死滅するので3日目のものを捨てることができる）



陽性者・疑いのある者の居室

- ① ゴミ箱は居室内に設置。
(大きなゴミ箱1個・食事残渣用1個)
- ① 居室から出てくる際、ポンチョ・使い捨てエプロン・キャップ・グローブを居室内で脱いでゴミ箱に捨ててくる。手指消毒してから居室から出る。
- ② 出てきたらすぐに手指消毒する。
- ③ フェイスシールド・ゴーグル類は消毒する。
- ④ 居室出た際すぐに手指消毒・装備できるように、テーブル設置しアルコール消毒液や個人防護具を置いておく。



使い捨て 個人防護具の作り方

使い捨てエプロン

https://youtu.be/_TGWGbGAiDM

約2分半

ディスポエプロンの作り方

I : エプロンタイプ : ゴミ袋 45ℓ 0.03~0.04mm

| NO | 方法 | 図 |
|----|---|---|
| ① | 袋の両サイドをハサミで切って一枚にする | |
| ② | 縦に半分にたたみ 図のように切り込みを入れる 頭が入るところになる | |
| ③ | 切り込みを入れた部分の両サイドを 2 cmの幅で半分まで切る 切ったところがエプロンのひもになる | |
| | 出来上がり | |

使い捨て 個人防護具の作り方

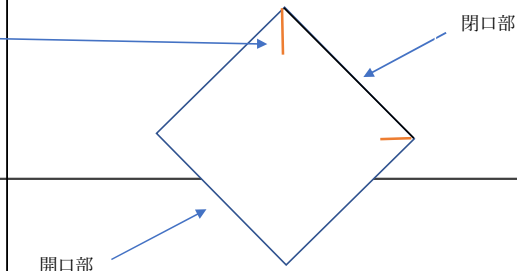
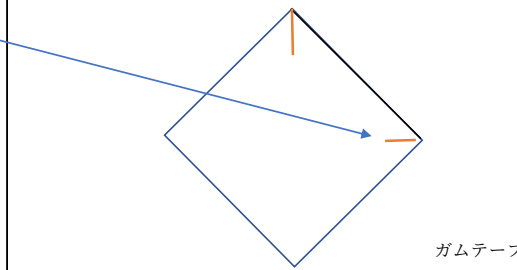
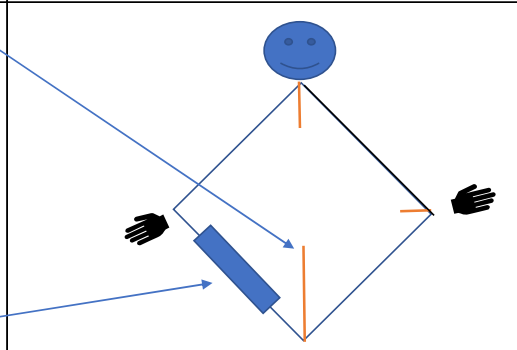
ポンチョタイプ

<https://www.youtube.com/watch?v=8dvPe60tOng>

約2分半

ディスポエプロンの作り方

Ⅱ：ポンチョタイプ：ゴミ袋 90ℓ 0.02~0.03mm

| NO | 方法 | 図 |
|----|--------------------|--|
| ① | 頭が出るくらい切り込みを入れる |  |
| ② | 手首が出るくらい切り込みを入れる |  |
| ③ | 背中部分になるように切り込みを入れる |  |

用意しておく書類・データ

*職員一覧表

職員リスト

| | 氏名 | 生年月日 | 年齢 | 既往歴 | H氏との最終接触日 | PPE有無 | 接触内容 | 検査日 | 検査結果 | |
|----|------|-----------|----|-----|-----------|-------------|--------------|---------------|------------|--|
| 1 | 北海道子 | 1974年1月1日 | 〇歳 | 喘息 | 令和〇年〇月〇〇日 | マスク ゴーグル | 発熱外来 受診対応 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 | |
| 2 | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | |

*濃厚接触者リスト

濃厚接触者リスト

| 氏名 | 氏名 | 生年月日 | 年齢 | 既往歴 | H氏との最終接触日 | PPE有無 | 接触内容 | 家族へ連絡① | 検査日 | 結果 |
|-----|-------|------------|-----|-------------------------|--------------|-------|-----------------|--------------------------------|---------------|------------|
| 101 | 北海 道子 | 1950年3月31日 | 70歳 | 高血圧症、 レビー小体型認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |
| 102 | 北海 太郎 | 1928年9月13日 | 91歳 | 心不全、糖尿病、 アルツハイマー認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |
| 103 | 北海 一郎 | 1935年8月9日 | 85歳 | 心不全、糖尿病、 アルツハイマー認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |
| 104 | 北海 二郎 | 1927年7月22日 | 93歳 | 高血圧症、糖尿病、 アルツハイマー認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |
| 105 | 北海 三郎 | 1927年2月2日 | 92歳 | 前立腺肥大、認知症 頸部脊柱管狭窄症、 | | | | | | |
| 106 | 北海 花子 | 1940年1月28日 | 81歳 | アルツハイマー認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |
| 107 | 北海 梅子 | 1933年7月30日 | 86歳 | 高血圧症、 レビー小体型認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |
| 108 | 北海 竹子 | 1924年9月14日 | 96歳 | 腸重積、レビー小体型認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |
| 109 | 北海 道郎 | 1935年3月30日 | 84歳 | 高血圧症、高脂血症、認知症 | 令和3年1月27日13時 | 無し | 食事は共用 場所と一緒に | 〇月〇日 陽性者が出 た事検査実 施の報告 | 〇月〇日 PCR検査 | 〇月〇日 陽性 |

職員リスト、利用者リストを保健所に提出しないと誰に検査をするのかが判断できないので、検査をするのが遅れてしまう。遅れると、陽性者の発見が遅れ感染対策の遅れにつながる。そのため速やかに提出できるように準備しておくのがよい。

* 感染者健康観察票

健康観察票（感染者）

| 利用者名 | 健康観察票（感染者） | | | | | 部屋番号 |
|---------------|-----------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|
| | 日付 | / | / | / | / | / |
| バイタルサイン測定 | 朝食前 | 時間 | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % |
| | 午前中 | 時間 | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % |
| | 午後 | 時間 | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % |
| | 夜間 | 時間 | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % |
| 必要時 | 時間 | : | : | : | : | |
| | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | |
| SPO2 | | % | % | % | % | |
| 表情外見 | 顔色不良 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 唇が紫色になっている | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | いつもと違う・様子がおかしい | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| 呼吸器症状 | 咳やたんがひどくなっている | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 急に苦しくなった | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 日常生活の中で少し動くと息があがる | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 息が荒くなった・息苦しさがある | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 胸の痛みがある | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 横になれない・座らないと息ができない | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 層で息をしている。ゼーゼーしている | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 【全身倦怠感】起きているのが辛い | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 【嘔気・嘔吐】嘔吐や吐き気が続いている。 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | 【下痢】下痢が続いている。（1日3回以上） | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| 意識障害 | ・ぼんやりしている（反応が弱い） | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | ・もうろうとしている（返事がない） | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| | ・脈が飛ぶ、脈のリズムが乱れる感じ | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| 食事 | 朝食 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 |
| | 昼食 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 |
| | 夕食 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 |
| 排尿 | 尿量 | 少ない、普通、多い | | | | |
| | 排便 | 少ない、普通、多い | | | | |
| | その他 | 鼻水、鼻づまり、喉の痛み | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| 結膜充血、頭痛、関節筋肉痛 | | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |
| けいれん等 | | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 |

* 濃厚接触者健康観察票

健康観察票（濃厚接触者）

| 日付 | 月 | 日 | 健康観察票（濃厚接触者） | | | | | | |
|-----------|-----------------------|--------------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---|
| 利用者名 | | | | | | | | | |
| バイタルサイン測定 | 朝食前 | 時間 | : | : | : | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % | % | % | % |
| | 午前中 | 時間 | : | : | : | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % | % | % | % |
| | 午後 | 時間 | : | : | : | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % | % | % | % |
| | 夜間 | 時間 | : | : | : | : | : | : | : |
| | | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ |
| | SPO2 | | % | % | % | % | % | % | % |
| 必要時 | 時間 | : | : | : | : | : | : | : | |
| | 体温 | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | ℃ | |
| SPO2 | | % | % | % | % | % | % | % | |
| 呼吸器症状 | 咳 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 喀痰 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 息苦しさ | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 鼻水、鼻閉 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 咽頭痛 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 嘔気・嘔吐 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 頭痛 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 全身倦怠感 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 筋肉痛 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 下痢 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| その他 | 味覚障害 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 嗅覚障害 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| | 【下痢】下痢が続いている。（1日3回以上） | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| 食事 | 朝食 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | |
| | 昼食 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | |
| | 夕食 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | 主 割 副 割 | |
| 排尿状態 | 尿量 | 少ない、普通、多い | | | | | | | |
| | 排便 | 少ない、普通、多い | | | | | | | |
| | その他 | 鼻水、鼻づまり、喉の痛み | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | |
| 特記事項 | 結膜充血、頭痛、関節筋肉痛 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | | |
| | けいれん等 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | 無・有 | | |
| | | | | | | | | | |

*これを参考に、各事業所の配置図に応じてゾーニングなどの対策を講じてください。

*上記マニュアルで使用する物品を必要数用意しておく必要がある。
(とりあえず4日分は必要)

例) 使い捨てエプロンは9名1ユニットの場合1日200枚は使用

*書類に関しても特に、利用者・職員リストは早期に提出が必要。

全員の情報リストを提出しないと、濃厚接触者の判断とPCR検査には至らない。

*日ごろから、かかりつけ医とコロナを疑った場合の具体策を講じておくことが必要。

どこで・どのように・いつ検査につなげるか等

2週間の必要数

| 衛生材料等の必要物品一覧 グループホーム 1ユニット分の目安2週間の目安 | | | | | ※1ユニットの積算根拠（濃厚接触者個室管理している人数2名と過程） | |
|--------------------------------------|------|------------------|----|-----------|-----------------------------------|--|
| 大項目 | 中項目 | 品名 | 種類 | 2週間 | 1日の量 | 備考 |
| 感染防御 | 個人防具 | キャップ | | 112枚 | 約8枚 | 1日2枚程度(陽性者や濃厚接触者がいる場合には、更に多くなります。) |
| | | 長袖ガウン | | 2,100枚 | 約150枚 | 1日100~150枚(陽性者や濃厚接触者がいる場合には、更に多くなります。) |
| | | N95マスク | | | | 3日に1回サイクル(従業員分の用意が必要) |
| | | ティスポ手袋 | | 約9箱 | 約30組程 | 清掃や排泄支援で枚数が変動します。(陽性者や濃厚接触者がいる場合には、更に多くなります。) |
| | | サージカルマスク | | 約3ケース | 約20枚 | N95の上にも着用(陽性者の訪室が増えれば増える必要) |
| | | 設置用手指消毒アルコール | | 約10個 | 10個 | ポンプタイプ(トイレや個室管理のお部屋、拠点ごとに設置) |
| | | 個人用手指衛生アルコール | | | 5個 | 従業員数用意しておくとし便利小分けして個々が持てるもの |
| | | ヘアキャップ | | | | |
| | | アイシールド(フェイスシールド) | | | | 従業員数用意しておく。使いまわしはしない。 |
| | | 90ℓボンチョタイプエプロン | | 2,100枚 | 約150枚 | 1日100~150枚(陽性者や濃厚接触者がいる場合には、更に多くなります。)*医療用ガウンの代用 |
| | | 45ℓティスポエプロン | | 3,500枚 | 約250枚 | 1日200~250枚(陽性者や濃厚接触者がいる場合には、更に多くなります。)*支援毎に交換 |
| | | | | | | |
| | | アルコール70% | | 約1.5個 | | |
| 生活用品 | 食事 | ティスポの皿 | | 約700枚 | 約50枚 | 全て使い捨て |
| | | ティスポの食器 | | 約980枚 | 約70枚 | ご飯、みそ汁等で使用 |
| | | 紙コップ | | 約1,680枚 | 約120枚 | 食事毎、服薬支援、水分摂取 |
| | | 割りばし | | 約700膳 | 約50膳 | 全て使い捨て |
| | | 新聞紙 | | | | 食事の食残を分けて捨てられないため、袋の中に見えなくする事、汁漏れを防ぐため |
| ケア用品 | 衛生 | 使い捨て歯ブラシ | | 約260本 | 約18本 | 1日2回(コストを減らすために、1日歯ブラシ(夕)ハミングット(朝)に代用していた) |
| | | ハミングット | | 約130本 | 約9本 | 1日1回(コストを減らすために、2日歯ブラシ(夕)ハミングット(朝)に代用していた) |
| | | 紙コップ小 | | 約260個 | 約18個 | うがい水入れ用と破棄用 |
| | | ティスポの食器 | | 約260個 | 約18個 | お椀のような容器にペットシートを入れて吸収させる |
| | | ペットシート | | | | 紙コップに入れて吸収させる |
| | | 口腔ケア用小さな袋 | | 約260枚 | 約18枚 | |
| | | 洗濯衣類の30Lの袋 | | | | 清拭時に衣類交換、排泄汚染物等に使用 |
| | | 破棄可能なタオル | | 約260枚 | 約18枚 | 清拭用 |
| | | 使い捨て清拭タオル | | | | あれば尚可、物資に入っていて役立つ。 |
| | | ペーパータオル | | | | 大量に使いました。 |
| | | ドライシャンプー | | 1本 | 1本 | |
| | | 排泄時のパットを包む袋 | | | | 各トイレに配置した |
| | | 排泄時のパットを包む新聞 | | | | 各トイレに配置 |
| | | ペットシート | | | | ポータブルトイレに入れる |
| | | ビニール袋 | | | | ポータブルトイレに入れる |
| ポータブルトイレ | | | | 個室になければ必要 | | |
| ペット環境 | | ペットシートワイド | | 1袋 | 約2枚 | ラバーシートの代用(洗濯物が増えるため) |
| バイタル | | 体温計 | | | | 個室管理ごとに必要 |
| | | 血圧計 | | | | 個室管理ごとに必要 |
| | | パルスオキシメーター | | | | 個室管理ごとに必要 |
| | | 拭き取り消毒 | | | | |

特に気を付けて実践

- 1) 入居者に触ったとき、レッドゾーン内でモノに触れた後、手洗い又は手指消毒は徹底して行う。
- 2) 個人防護具の着方・脱ぎ方（ガウンテクニック）を各自で学び実践すること。特に脱ぎ方・捨て方に注意！
- 3) 自分で考え自分で行動できるように、確認すること！聞くこと！わかるまで教えてもらうこと！をお互いにしてください。